



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社FCE 上場取引所 東  
 コード番号 9564 URL http://fce-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 淳悦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 加藤 寛和 (TEL) 03-5908-1400  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,039	11.9	172	44.0	174	71.6	111	73.2
2023年9月期第1四半期	929	—	119	—	101	—	64	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 106百万円(86.5%) 2023年9月期第1四半期 57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	35.69	32.57
2023年9月期第1四半期	21.89	19.76

(注) 1. 2022年9月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2022年10月27日付で東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、2023年9月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2023年9月期第1四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,008	1,812	60.2
2023年9月期	3,298	1,704	51.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,811百万円 2023年9月期 1,703百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	10.2	707	21.5	705	22.5	454	42.3	145.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(2024年2月13日)公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期1Q	3,122,700株	2023年9月期	3,117,600株
2024年9月期1Q	—株	2023年9月期	—株
2024年9月期1Q	3,118,594株	2023年9月期1Q	2,936,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスに関する規制の緩和や長引く円安の影響により外国人観光客が増加し、インバウンド需要が高まる一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や物価上昇の影響は続いており、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループは、DX推進事業及び教育研修事業をセグメントとしております。DX推進事業に関連する業界では、働き方改革や出社・リモートといった働き方を問わず、自動化や生産性改善に対するニーズは継続しており、市場環境は良好な状況が続いております。教育研修事業のうち、研修業界は、DXが推進される社会環境もあり、これに対応した人材育成の必要性の高まりからリスキリングに関連する需要によりeラーニング市場の拡大は継続しております。教育業界においては文部科学省の掲げる「GIGAスクール構想」の下、学校におけるICT環境の整備・強化が継続的に進むことに加えて、初等中等教育向けのデジタル学習環境のコンセプトである「学習eポータル」の拡張も進展しております。

当社グループにおいては、「チャレンジあふれる未来をつくる」をパーパスに掲げ、人口減少による労働力不足に対して「『人』×『Tech』で人的資本の最大化に貢献する」をミッションとして事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当社グループは、2023年5月24日に2023年9月期から2025年9月期までの3か年を対象とした中期経営計画を策定しております。その2年目となる2024年9月期においては、売上高4,464百万円、経常利益700百万円（経常利益率15.7%）を目標としております。その目標達成のために、2024年9月期末時点には、DX推進事業の重要KPIである「RPA Robo-Pat DX」の導入企業数1,250社以上、教育研修事業の重要KPIである「Smart Boarding」（クラウド型オンボーディングサポートサービス）の導入企業数670社以上としております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,039百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益172百万円（前年同期比44.0%増）、経常利益174百万円（前年同期比71.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益111百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① DX推進事業セグメント

当社グループ商品「RPA Robo-Pat DX」は一人ひとりのパソコン業務を自分で自動化できる「パーソナルRPA」という考え方に基づき現場の業務フローと必要な機能を追求し、継続的に改善を重ねながら、更なる事業拡大に向けて広告宣伝等も積極的に行ってまいりました。現場の最前線で業務にあたりながらRPAを使いこなすための「ロボパットマスター認定プログラム」の受講者数を継続的に増やし、DX推進並びに生産性向上を実現する人材の育成にも注力することで市場と事業の両面の拡大を企図しています。

導入社数は2023年12月末時点で1,219社（2022年12月末時点では1,047社、2024年9月期末中経目標対比での進捗率97.5%）となっており、その結果、当第1四半期連結累計期間においてセグメント売上高は601百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は126百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

#### ② 教育研修事業セグメント

主に研修事業においては、当社グループ商品「Smart Boarding」が、eラーニングの市場ニーズの成長を背景に、導入企業数2023年12月末時点で664社（2022年12月末時点では492社、2024年9月期末中経目標対比での進捗率99.1%）に伸ばすことができ、前年同期比で増収となりました。結果、当第1四半期連結累計期間においてセグメント売上高は424百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は35百万円（前年同期比2,327.7%増）となりました。

サービス別の売上高は、次のとおりであります。

#### ①DX推進コンサルティングサービス

DX推進コンサルティングサービスでは、DX推進事業セグメントに加えて教育研修セグメントのうち、Education DXとHR DXの分野にサービスを提供しております。

RPAサービスの拡大に加えて、企業向けでは(HR DX)「Smart Boarding」の拡販を実現しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間において売上高は704百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

②人財育成コンサルティングサービス

人財育成コンサルティングサービスでは、教育研修セグメントのうち、EducationとHR (Human Resource)の分野にサービスを提供しております。HRの分野では事業全体が堅調に進捗し、その結果、当第1四半期連結累計期間において売上高は321百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて290百万円減少し、3,008百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べて303百万円減少し、2,579百万円となりました。これは主に現金及び預金が308百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて13百万円増加し、429百万円となりました。これは主に無形固定資産が10百万円、長期前払費用が3百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて397百万円減少し、1,195百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べて392百万円減少し、843百万円となりました。これは主に賞与引当金が180百万円、未払法人税等が91百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べて4百万円減少し、352百万円となりました。これは主に長期借入金金が5百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて107百万円増加し、1,812百万円となりました。これは主に利益剰余金が111百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月13日に公表した連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年2月13日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,247,239	1,938,275
売掛金	297,539	293,030
有価証券	137,914	132,093
商品	42,902	46,379
未収還付法人税等	1,893	1,893
その他	157,541	170,033
貸倒引当金	△2,296	△2,697
流動資産合計	2,882,735	2,579,008
固定資産		
有形固定資産	87,998	85,824
無形固定資産	64,380	74,850
投資その他の資産		
投資有価証券	21,134	21,134
差入保証金	83,531	82,863
長期前払費用	11,596	14,753
繰延税金資産	139,884	141,679
その他	18,172	19,248
貸倒引当金	△11,046	△11,046
投資その他の資産合計	263,271	268,632
固定資産合計	415,650	429,308
資産合計	3,298,386	3,008,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	189,881	176,595
1年内返済予定の長期借入金	32,271	31,252
未払金	45,503	23,655
未払費用	140,230	119,804
契約負債	377,522	294,164
未払法人税等	154,770	63,033
未払消費税等	57,534	43,772
賞与引当金	206,192	26,185
株主優待引当金	11,295	5,940
その他	20,866	58,666
流動負債合計	1,236,067	843,069
固定負債		
長期借入金	301,444	295,466
資産除去債務	17,283	17,356
その他	38,850	39,859
固定負債合計	357,577	352,682
負債合計	1,593,645	1,195,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	180,526	181,122
資本剰余金	118,283	118,880
利益剰余金	1,389,931	1,501,265
株主資本合計	1,688,742	1,801,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,829	10,127
その他の包括利益累計額合計	14,829	10,127
新株予約権	1,170	1,170
純資産合計	1,704,741	1,812,565
負債純資産合計	3,298,386	3,008,316

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	929,276	1,039,917
売上原価	282,971	309,103
売上総利益	646,305	730,813
販売費及び一般管理費	526,684	558,584
営業利益	119,621	172,229
営業外収益		
受取配当金	900	1,601
その他	821	1,519
営業外収益合計	1,722	3,121
営業外費用		
支払利息	170	717
株式公開費用	19,446	—
固定資産除却損	0	—
その他	—	36
営業外費用合計	19,616	753
経常利益	101,726	174,597
特別利益		
投資有価証券売却益	—	746
特別利益合計	—	746
税金等調整前四半期純利益	101,726	175,343
法人税等	37,456	64,010
四半期純利益	64,270	111,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,270	111,333



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	64,270	111,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,095	△4,701
その他の包括利益合計	△7,095	△4,701
四半期包括利益	57,175	106,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,175	106,631
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書計上額 (注)3
	D X 推進	教育研修	計				
売上高							
外部顧客への売上高	498,012	390,097	888,109	41,166	929,276	—	929,276
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	3,354	3,357	183	3,540	△3,540	—
計	498,015	393,451	891,467	41,350	932,817	△3,540	929,276
セグメント利益	93,360	1,453	94,813	5,894	100,707	18,913	119,621

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額18,913千円は、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。全社収益は各グループ会社からの経営管理料等であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書計上額 (注)3
	D X 推進	教育研修	計				
売上高							
外部顧客への売上高	601,957	424,022	1,025,980	13,936	1,039,917	—	1,039,917
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,977	2,977	103	3,081	△3,081	—
計	601,957	427,000	1,028,958	14,040	1,042,999	△3,081	1,039,917
セグメント利益又は損失 (△)	126,047	35,281	161,329	△9,446	151,883	20,346	172,229

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額20,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。全社収益は各グループ会社からの経営管理料等であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2023年9月15日開催の取締役会決議に基づき、当社の連結子会社である株式会社ダイニングエッジインターナショナルを2023年11月1日付で吸収合併いたしました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業内容

被結合企業の名称：株式会社ダイニングエッジインターナショナル

事業内容：店舗の業務改善・フランチャイズ支援・コンサルティング事業等

②企業結合日

2023年11月1日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社ダイニングエッジインターナショナルを消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社FCE（旧名称：株式会社FCE Holdings）

⑤その他取引の概要に関する事項

当社子会社の吸収合併等の方法により純粋持株会社体制を解消することで、グループ全体の経営体制を進め、更なる成長戦略推進や経営資源の効率化を図ることを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	D X推進	教育研修	計		
D X推進コンサルティング (注2)	498,012	76,491	574,504	—	574,504
人財育成コンサルティング (注2)	—	313,605	313,605	—	313,605
出版事業	—	—	—	41,166	41,166
顧客との契約から生じる収益	498,012	390,097	888,109	41,166	929,276
外部顧客への売上高	498,012	390,097	888,109	41,166	929,276

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業を含んでおります。  
また、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

2. D X推進コンサルティング: 教育研修セグメントのうち、Education D XとHR D Xの分野とD X推進事業セグメント(RPA)の分野にサービスを提供しております。  
人財育成コンサルティング: 教育研修セグメントのうち、EducationとHR(Human Resource)の分野にサービスを提供しております。

主なサービス区分における定義は以下の通りであります。

RPA: RPAソフトウェアの提供サービス

Education DX: オンラインツールやeラーニングコンテンツ(教育関係向けの総合情報サイト)の提供サービス

HR DX: eラーニングコンテンツ(企業向けクラウド型オンボーディングサポート)の提供サービス

Education: 学校や私塾等へのサービス

HR: 企業への集合型・対面型の研修やコンサルティングサービス

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	D X推進	教育研修	計		
D X推進コンサルティング (注2)	601,957	102,837	704,795	—	704,795
人財育成コンサルティング (注2)	—	321,185	321,185	—	321,185
出版事業	—	—	—	13,936	13,936
顧客との契約から生じる収益	601,957	424,022	1,025,980	13,936	1,039,917
外部顧客への売上高	601,957	424,022	1,025,980	13,936	1,039,917

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業を含んでおります。  
また、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

2. D X推進コンサルティング: 教育研修セグメントのうち、Education D XとHR D Xの分野とD X推進事業セグメント(RPA)の分野にサービスを提供しております。  
人財育成コンサルティング: 教育研修セグメントのうち、EducationとHR(Human Resource)の分野にサービスを提供しております。

主なサービス区分における定義は以下の通りであります。

RPA: R P Aソフトウェアの提供サービス

Education D X: オンラインツールやeラーニングコンテンツ(教育関係向けの総合情報サイト)の提供サービス

HR D X: eラーニングコンテンツ(企業向けクラウド型オンボーディングサポート)の提供サービス

Education: 学校や私塾等へのサービス

HR: 企業への集合型・対面型の研修やコンサルティングサービス

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

(連結子会社の吸収合併)

株式会社FCEトレーニング・カンパニーとの吸収合併

当社は、2024年2月13日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として当社完全子会社である株式会社FCEトレーニング・カンパニーを吸収合併することを決議しました。

なお、本吸収合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、またFCEトレーニング・カンパニーにおいては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、いずれも合併契約承認に関する株主総会は開催いたしません。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業内容

被結合企業の名称：株式会社FCEトレーニング・カンパニー

事業内容：人材育成に関するコンサルティング、各種研修・セミナーの企画開発及び運営業務等

②企業結合日

2024年4月1日（予定）

③企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社FCEトレーニング・カンパニーを消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社FCE

⑤その他取引の概要に関する事項

当社子会社の吸収合併等の方法により純粋持株会社体制を解消することで、グループ全体の経営体制を進め、更なる成長戦略推進や経営資源の効率化を図ることを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。